

厳しい財政状況

財源確保に向けた 本市の取り組みは

問 財源確保のための諸施策として、税収の適正化、良好な宅地化への取り組み、優良な企業の誘致、用途地域の見直し、ため池の活用、高額所得者の本市への

誘導の六点について考えを伺う。

答 税収の適正化については、税の公平性、応分負担の原則から、徴収率の向上に取り組みとともに減免制度の見

の公開練習には、約三千五百人の観客が訪れ、大きな手応えを感じているところだ。

高校野球の大会についても、長年にわたって明石球場で開催されており、地元市としてどのようなことができるのか、主催者である高野連と調整していきたいと考えている。

また、野球のイベントに合わせて商店街との連携事業を実施するなど、多くの人々が明石を訪れ、明石の食を楽しみ特産物の購入につながるような、まちのにぎわいづくりに取り組んでいきたい。

答 本市では野球とのかかわりの深さをま



全国高校野球軟式野球大会 (明石球場)

直しを図りたい。良好な宅地化については、関係法令に基づき、良好な住環境の形成、安全なまちづくりに向け指導している。また、企業誘致については、二見臨海工業団地が県の産業活力再生地区に指定されており、土地取得の負担軽減の支援をしているところだ。

用途地域の見直しについては、現在策定中の土地利用構想案により方針を定めていきたいと考えている。ため池については、地域の実情を踏まえ処分を含めた活用をしていきたい。

また、高額所得者の誘導については、個性的な魅力あるまちづくりを進めることにより、対応していきたい。

再整備の手法を確立することが求められている。

災害に強いまちづくり 下水処理場の ネットワーク化 事業費は130億円

問 本市の下水道普及率が98%に達する中、なぜ下水処理場のネットワーク化が必要なのか聞きたい。また、事業費の百三十億円は妥当なのか。

答 災害に対する危機管理やリスク低減への社会的要請が大きくなる中、下水道においても、災害時に汚水処理機能が確保できる危機管理体制を構築することや、下水道施設の効率的な

再整備の手法を確立することが求められている。

下水処理場のネットワーク化が実現すれば被災した処理場の汚水を他の処理場で処理でき、市民生活への影響を最小限にとどめ、施設の早期復旧が可能になることや、下水処理場の運転を継続しながら再構築を図ることが可能になると考えている。

事業費については、ネットワークがない状況で被災した場合、施設の全面復旧に三年程度かかり、費用も二倍強になることから、厳



ネットワーク化が必要 (船上浄化センター)

プラスチック製容器包装の分別収集

平成22年の全市展開に向けて 具体的な検討を開始

問 現在、試行中のプラスチック製容器包装の分別収集を、平成二十二年中に全市で実施することだが、全市展開に向けた今後の取り組みと二酸化炭素の削減効果を聞きたい。

答 プラスチック類は燃やせないごみとして埋め立て処分をしていたが、焼却能力が向上した明石クリーンセンターが本格稼働し、安全性が確認されたため、平成十一年四月からは

燃やせるごみに変更し焼却処理を行ってきた。このたび分別収集の全市実施に向け、二十年度については、二酸化炭素の排出削減や最終処分場の延命化、民間選別施設の整備などを総合的に計画する循環型社会形成推進地域計画を策定し、施設の整備や回収方法、市民への協力要請など、

具体的な検討を行いたいと考えている。

全市実施による二酸化炭素の削減効果については、約二千七百トンのプラスチック製容器包装を回収し、約七千三百トンの二酸化炭素の排出を削減できるものと予測している。



分別がリサイクルの基本

公平委員の 選任に同意

公平委員会委員の任期(四年)満了に伴い、弁護士石井嘉門氏(六十一歳・大久保町ゆりのき通)を選任することに同意しました。

同氏は、これまで明石市入札監視委員会委員長などを歴任されています。本市の公平委員会委員は三名です。

固定資産評価審査委員選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期(三年)満了に伴い、坂口修平氏(六十七歳・二見町東二見)を選任することに同意しました。

同氏は長年、市職員として勤務され、総務部参与、水道部長などを歴任。本市の固定資産評価審査委員会委員は三名です。

さらなる議員の資質向上を図るため、二月十八日、第二回議員研修会を開催しました。

議会の会議の中で使われることば

議案 議会の議決を得るため、市長や議員および委員会が提出する案件のこと。
質疑 議案等に対し、討論、表決の前に、疑問点をたずねること。
一般質問 議員が本会議で、市政全般について事務の執行状況、将来に対する方針などについてたずねること。なお、所属する会派を代表して、質問することを代表質問という。
付託 議会の議決に先立って詳しく検討を加えるために所管の委員会に審査を委託すること。
審議 本会議で議題となった案件について、説明を聞き、質疑し、討論をし、表決するといった一連の過程のこと。なお、委員会において、付託を受けた議案等について議論し一応の結論を出す過程のことを審査という。
表決 議会の意思決定(議決)を得るための手段で、議題となった案件に対し、個々の議員が賛成、反対の意思表示をすること。
議決 議案等に対する議会としての意志決定のこと。

中国無錫市友好交流団 市議会を表敬訪問

三月十九日、中国・無錫市の人民代表大会と政治協商会議の友好交流団十名の表敬訪問を受けました。議長は「互いの友好関係のさらなる発展を祈念します」とあいさつし、交流を深めました。



第2回議員研修会を開催

さらなる議員の資質向上を図るため、二月十八日、第二回議員研修会を開催しました。



講師として、神戸学院大学法学部准教授の小川一茂氏を迎え、議員活動の基本となる地方自治法と地方財政制度について講義していただきました。